

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2708	協栄江戸川台年金ホーム	(株)協栄年金ホーム	H28.1.28
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	B	6.2.4	A	A
1.2.1	A	A	2.3.8	A	A	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	A	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	A	A
1.4.1	A	A	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	A	A
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	A	A
1.4.7	A	A	3.1.3	A	A	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	A	A	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.4	A	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	A	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	A	A	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

評価機関の所見

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-3-1	ホームの職員全員で情報共有を図るために、毎月のオールスタッフミーティングを同じ内容のものを2回に分けて行い、全職員が運営状況や入居者へのサービス提供状況等を直接知ることができるように工夫している。毎月プレゼンテーションソフトを活用して資料を作成しており、文字情報だけでなく写真や図表等多用することにより、職員の理解が進むように整えている。
3-1-6	東京ドームの約1.5倍の敷地面積があるホームであり、ヤギを2頭飼育して入居者が餌やりをしたり、庭園にある桜や梅、バラをはじめとする四季折々の樹々を楽しみながら生活できる環境が整えられている。ホーム内についても、エントランスロビーや中庭ウッドデッキ、娯楽室等が用意されており、入居者が居室以外で快適に過ごせる空間づくりに努めている。
5-1-1	新規入居者の募集を踏まえて委託業者を選定し、毎週給食委員会を開いており、入居者からの意向・要望をはじめ職員からの意見を取り入れて献立内容の検討を行っている。朝・夕は2種類、昼食は麺類を含む3種類からの選択が可能としている。さらに、イベント食も事前に試食の機会を設ける等、食事を楽しめる工夫に取り組んでいる。
6-1-1	食事や運動、健康管理等を通じて入居者の『健康寿命をより長くする』ことを職員の共通認識として支援にあたっている。月1回のオールスタッフミーティング等でホームとしての方針を確認するとともに、各入居者の施設サービス計画策定時においても、ケアマネジャーをはじめ多職種が連携を図ることによって、組織として一貫した対応がなされるよう努めている。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-1-4	ホーム運営の中・長期計画は収支計画を中心に策定しており、昨年2月から新規入居者募集を開始したことを受けて、段階的に入居者数を定員に近づけていく予定としている。新規入居者を着実に受け入れるために、今後は募集方法はもとより、地域交流の機会やサークル活動の充実等、ホームの生活を一層豊かにしていくための領域について、数値目標等も含めて中・長期計画を策定していくことが期待される。
1-5-2	入居者の権利擁護に関する情報提供への取り組みについて、任意後見人の選定や遺言作成等をサポートする団体を紹介している。ただし、現在のところ、紹介している団体は1カ所となっているので、今後は情報収集して各種権利擁護機関とのネットワークを構築し、さまざまな団体や機関の中から入居者自身が選択できるように整えていくことが望まれる。
6-2-5	施設サービス計画の策定にあたっては、サービス担当者会議に家族とケアマネジャー、担当医、看護師、看護職員、ヘルパー等が出席し、家族からの意向・要望を聞き取る他、入居者の心身状況の確認を行い、必要な支援の検討を行っている。現状、入居者の意向等は家族が代弁する方法で反映しているが、今後は、サービス担当者会議に本人も出席する機会を設ける等、検討されたい。
7-3-2	介護浴室は、機械浴槽とミスト浴槽および介助浴槽の2カ所に分かれている。両方の入り口にカーテンがあり、入浴介助マニュアルをはじめ、介助浴手順・注意事項等にはプライバシー配慮に関する記載があり、研修も行われている。しかしながら、通路からの視線を意識した対応については、十分とはいえない状況も見受けられたため、さらなる意識の向上が期待される。